

京都国立近代美術館 4階展示室仮設ガラスケース施工業務
仕様書等に関する質問及び回答

R6.4.17

No.	質問事項	回答
1	撤去作業日程がないことについて、「リース」として見積ってもパネル、LED照明、ガラス等の資材は返ってこない、全て売り切りという理解でよろしいでしょうか。	今回の仮設ケース設置は、既存ガラスケースのメンテナンス作業のために行うものですが、メンテナンス作業の終了時期が見通せないため、撤去作業日を明示していません。撤去作業については、別途作業依頼を行う予定にしております。当館としては、撤去を前提としておりますので、撤去後にケースの部材を当館にて保管することは予定していません。
2	施工日程について、6月5日～8日は4階コレクションの開館中だと思いますが開館中に作業は可能なのでしょうか。	施工期間については、当該エリア及び資材の搬入経路に作品はないようにいたします。開館中につき、おそらく施工時の作業音などを気にしていただいていると思いますが、施工によって作業音が出ることは承知しておりますので問題ございません。来館者に対する対応策については館内で協議しております。作業のために作業員同士のコミュニケーションは取っていただいて問題ありませんが、会話の音量にご配慮いただけますようお願いいたします。
3	仕様書12に記載の「現場施工・展示・調整作業期間」について、「展示作業」は仕様書には期間の表示がありませんのでないものと理解してよろしいでしょうか。	展示作業にお立会いいただく必要はありません。ただし、下記4のご質問とも関連するかと思います。展示ケースのメンテナンスはお願いしたいと考えております。設営後、初めての展示作業は6月9日（日）になります。6月9日に発生した不具合については、6月10日（月）午前中までにご対応いただきたいと考えておりますので、その点だけご了承ください。
4	業務完了日以降に不具合等があった場合のメンテナンスについては、撤去日程がないので見込まなくてよいという理解でよろしいでしょうか。	撤去までのメンテナンスについてはお願いできればと考えております。